



発熱は悪者？

医師 大竹 要生



皆さん、「恒温動物」って覚えていますか？

どうも今は中学二年生の理科で習うようです。でも手元にあった小学生の娘の「例解小学国語辞典」にも載っていました。それによると「体の温度を、周りの温度に関係なく一定にしておくことができる動物。ヒトや鳥など。」と書いてあります。ではなぜ温度を一定にしておかないといけないのでしょうか。それは体の中の働き（酵素）は一定の温度で機能を発揮するためというわけです。つまり、体温が低すぎても高すぎても問題がおきます。

では「発熱」は、この体温調節が壊れてしまっているのでしょうか。実はそうではなくて正常な反応です（熱中症の時の高体温は違います）。

今回はこの「発熱」を取り上げたいと思います。



発熱は、体の正常な防御反応です。病原体に打ち勝つために、あえて発熱しています。だから発熱自体が悪いのではなくて発熱しないといけない原因が問題ということになります。だから解熱薬が効いている間にその作用で熱が下がっていても病気が良くなったわけではありません。原因を退治しないとまた熱が上がってくるということになります。では防御反応とはどういうことでしょうか。

体温を上げることによって病原体を退治しやすい状態を作っていると言われてます。過去にはわざとマラリアに感染させて発熱させ梅毒の病原体を退治するという治療もあったそうですが、インフルエンザウイルスは 38℃以上で増殖が抑制されるなど発熱させた方が病原体より人の体が優位に立てるため、病原体に感染するとあえて発熱する仕組みを作っていると言われてます。そこで解熱薬は使わないで済むなら使わないほうが良いという考え方もあります。



ただ発熱自体の悪影響が大きなきは例外的に解熱薬を使った方がいい場合があります。例えば、元々体の余力が病気で小さい場合（脳や心臓、肺の病気）は発熱に耐えられません。また、42℃を超える場合は様々な臓器に障害が生じます。一方、熱のしんどさで食欲低下や水分が摂れない場合も困ります。場合によっては熱がある事自体が心の負担になる方もいます。他には、痛みを伴っている場合（解熱薬は鎮痛薬にもなる）、妊娠初期も解熱薬のメリットが大きくなります。このように、必ずしも熱は下げないといけないわけではありませんが、解熱した方がメリットが大きな場合もあります。医師にご相談ください。

今回は以上にします。また機会があったら、体温の測定方法や平熱について書きたいと思います。



こんな治療法がありました。

看護師 宮井由里子



前は、健康なバランスの腸内細菌をもった人の便を移植することで、腸内細菌のバランスを整え腸の状態を整える「便移植」別名「便微生物移植」という治療法の話をしました。

今回はこの「便移植」の続きを書こうと思います。

○便を移植できる人（ドナー＝提供者）は？

配偶者か2親等以内（親、子、兄弟姉妹）の親族に限定されています。※なぜかという将来起きるかもしれない便の売買を予防するため。また、提供者を探すのが簡単だからだそうです。

○どうやって移植するの？

ドナーの便に感染症や病原菌の有無を調べたあと、その便を生理食塩水で溶かしフィルターでろ過してから大腸内視鏡を使って腸内に注入します。

○どこの病院でもできるの？

日本ではまだ4つの病院しか実施されていません。近くでは滋賀医大です。アメリカではもっともメジャーな治療で50施設ぐらいで実施しているそうです。

○費用は？

まだ、保険適用ではありません。患者さんと提供者の検査、内視鏡も普段の検査よりも時間もかかるので、その分の費用がかかります。はっきりとはわかりませんが、施設によっては、80万円から120万円くらいかかるそうです。

便移植により、病気の人悪い腸内フローラを健康な人の良い腸内フローラを置き換えることで病気が治る、あるいは症状を改善する

というもので、必ず完治するという確定はなく、また病気が再発することもあるそうです。数年前、テレビでも紹介され大きな反響があったとか。私自身勉強不足でこのことについて全く知りませんでした。治療ってびっくりする方法もあるんですね。

～お知らせ～

糖尿病教室のお知らせ

糖尿病教室は、糖尿病の患者さんが糖尿病について深く理解し、積極的に自己管理ができるようになるための教室です。

今回は平成30年4月28日（土）14:00からの開催を予定しております。関心のある方は当院の看護師にお声掛け下さい。

医師の不在について

- ・ 3月17日（土）～23日（金）・4月9日（月）…… 中村先生
- ・ 4月5日（木）・28日（土）…………… 大竹先生
- ・ 4月9日（月）～4月11日（水）…………… 永嶋先生

上記の日程、都合により各医師が不在となります。ご迷惑をお掛けしますが、予めご理解をお願いいたします。



医師の離任・退職のお知らせ

3月末で陌間医師・三砂医師が研修修了のため離任いたします。

また、4月中旬に大原医師が退職いたします。

それに伴い、4月から診療体制が変更となります。

次月のゆげメディだよりでお知らせいたします。

ご迷惑をお掛けしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

